# 高等学校　保健体育　科目：体育

岐阜県立郡上高等学校／立花　侑司

【目的】

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取組

目標に準拠した観点別学習状況評価の取組、ICT環境を生かした指導の工夫

【領域】

球技：ゴール型（バスケットボール）

## 1　実施の概要

（１）実施環境：体育館（Wi-Fi環境無し）、オフラインでの利用

（２）使用機器：タブレット（チームで１台）

（３）活用ソフト：カメラアプリ

（４）対象：入学年次　男　15名　女　16名　　選択制授業

# 高等学校　保健体育　科目：体育

岐阜県立郡上高等学校／立花　侑司

## 2　活用の実際

### （１）「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践

【学習の流れ】

【導入】
ランニング　体操
シュート練習
３メン練習

【展開】
ゲーム動画の分析
チームで作戦会議
フルコートゲーム

【まとめ】
チームミーティング
本時の振り返り

【活用場面】場面：展開

前回の授業で体育館２階ギャラリーから撮影したゲームの映像を活用しチームミーティングを実施した。「スペース」「ボールを持っていない人」に着目させチームと個人の評価を分析プリント（個人）に記入させた。分析プリント（個人）を基にゲームの映像をチームで確認させ作戦を分析プリント（グループ）に立案させた。

Wi-Fi 環境が整備されていない体育館でも使用できるカメラアプリ機能のみを利用し、ゲームを分析できるよう工夫した。

【活用場面写真等】

### （２）ICTを活用した観点別学習評価の取り組み

【観点別学習状況評価】

思考・判断・表現

【評価規準】

チームオフェンスについて合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。

【活用方法】

①チームミーティングにおいて、ゲームを撮影した映像を活用し、分析プリント（個人）にチームと個人の評価を記入させた。
②分析プリント（個人）を基にゲームの映像をチームで確認し、チームの作戦を分析プリント（グループ）に立案させた。
③ミーティングの様子を観察し評価を実施した。

【活用場面写真等】

# 高等学校　保健体育　科目：体育

岐阜県立郡上高等学校／立花　侑司

## 3　参加した生徒の感想等

・オフェンス時にスペースを使えていないことが分かったので、作戦会議の時に横に広がってプレーすることをチームで確認し、実際にスペースを使ったプレイにつながった。
・自分と経験者のシュートフォームやボールの軌道を比較して改善し、シュートが入りやすくなった。自分たちのゲーム動画を撮影することで前回の試合を振り返ることができて、良かったプレーや課題を見つけることができた。
・今までは経験者に口頭でアドバイスを受けても理解できない部分があったが、ゲーム動画を分析し、作戦ボードを使うことでアドバイスの意味を少しずつ理解できた。
・自分たちのプレーを試合の映像を確認することで、客観的に見ることができ反省や戦術を立てやすかった。タブレットの準備やカメラの立ち上げに多少時間がかかった。

## 4　成果と課題

### （１）「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践

【成果】

試合の映像を活用してチームで話し合い、分析プリントに作戦を立案することで、チームの課題解決に向けて主体的・対話的で深い学びにつながった。その結果、オフェンス時の攻め方やスペースを使うためのオフザボールの動きの重要性について理解が深まり、ゴール下への侵入場面が増え、活発なゲームへ繋げることができた。

【課題】

試合の映像を活用することで、空いたスペースを使って攻めることは理解できたが、ゲームでは空いたスペースを見つけられない生徒もみられた。知識として理解したことを実践するためには、実際にゴール下の攻防について練習を設けることで理解が深まり、ゲーム中にも目指したい展開が増えていくと考える。

### （２）目標に準拠した観点別学習評価の取り組み

【成果】

タブレットで撮影したゲームの映像を活用することにより、ゲームにおいて空いたスペースを可視化することが可能になり、生徒がチームや個人の課題を発見することができた。また、ゲームの映像を基に個人やチームの課題が明確になり、チームで作戦を立案する際に議論が深まった。

【課題】

チームの課題を発見しやすくするため、撮影をする角度やズームを工夫することが必要である。

ゼッケンの番号を固定するなど、ゲーム中の生徒の判別を正確に行う工夫が必要である。